

岐阜県経済の現状のポイント（平成 26 年 7 月分）

【景況感】

景気は緩やかに回復している。

【製造業】生産、売上は、輸送用機械関連を中心に好調を維持

○製造業全体では輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持している。

【地場産業】一部の業種を除いて厳しい状況が続いている

○消費増税前の駆け込みで好調だった木工も生産に落ち着きを見せ始め、他の業種については依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

【個人消費】消費増税に伴う駆け込み需要の反動減は和らいでいる

○食料品は回復基調にある一方、日用品や高額商品の回復状況はやや鈍い。衣料品は低調である。

【観光】インバウンドは台湾等を中心に引き続き好調

○施設によってバラつきはあるものの、トータルで見た宿泊客数はやや前年を上回った。インバウンドは落ち着いてきているが、台湾等を中心に好調を維持している。

【雇用】業務量が増加し人手不足が発生している企業がある

○製造業を中心に、生産量や業務量の増加に伴い人材の確保に努める企業が多数見受けられるが、求職者とのミスマッチが生じており、人手不足が発生している。

【設備投資】設備投資意欲が増加し、実績も増加傾向

○設備投資の目的のうち、「補修・更新」といったやむを得ない理由が減少し、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が増加、投資実績も増加している。設備投資意欲も改善傾向が続いている。

【資金繰り】資金繰りは改善傾向

○新規融資実績は減少傾向にあるが、借入難易度は緩やかながらも着実に改善している。